よろこびがつなぐ世界へ
KIRIN

News Release
2026 年 11 月 26 日
キリンホールディングス株式会社

キリン、「レインボー認定」を初取得
「PRIDE 指標 2026」では「ゴールド」を 10 年連続受賞

キリンホールディングス株式会社（社長 COO 南方 健志）、キリンビール株式会社（社長 堀口 英樹）、キリンビバレッジ株式会社（社長 井上 一弘）、メルシャン株式会社（社長 大塚 正光）は、LGBTQ+（レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー・クィアまたはクエスチョニングなどの性的マイノリティ）を取り巻く社会課題の解決に向け、企業・団体の枠を超えて協働する取り組みが評価され、「レインボー認定」を初めて取得しました。

また、企業の取り組みに対する評価指標「PRIDE 指標 2026」においても 4 社連名で、最高評価の「ゴールド」を 10 年連続で受賞しました。併せて、グループ会社の協和キリン株式会社および株式会社ファンケルも、それぞれ 5 年連続で「ゴールド」を受賞しています。

■「PRIDE 指標」・「レインボー認定」とは

一般社団法人 work with Pride が 2016 年に策定した「PRIDE 指標」は、企業・団体における LGBTQ+への取り組みを評価する指標で、「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の 3 段階で評価されます。キリングループの LGBTQ+への取り組みは、長期にわたり継続的に評価されています。

「レインボー認定」は、LGBTQ+を取り巻く社会課題の解決に向け、企業・団体が行政や NPO などさまざまなステークホルダーと協働する取り組みを評価する認定です。

work with Pride Rainbow 2026　work with Pride Gold 2026

キリングループでは、「キリングループ人権方針」※1 において、性的指向・性自認などに基づくあらゆる差別を認めないことを明記しています。その方針のもと、経営陣から従業員へのメッセージ発信、人権研修、採用面接官の理解促進、外部相談窓口の設置など、LGBTQ+への理解促進に継続的に取り組んでいます。また、同性パートナーシップについても法律婚と同等に社内制度を利用できるよう、制度整備を進めてきました。

この「キリングループ人権方針」は 2023 年に更新され、事業を展開する各国・地域における人権課題への理解を深め、適切に行動することを宣言しています。さらに、2026 年 10 月にはグループ初となる「キリングループ人権レポート 2026」※2 を公開し、多様な人々の人権を尊重し、一人ひとりが自分らしく力を発揮できる環境づくりを含め、事業活動全体における人権尊重の考え方と、主に 2025 年の取り組みを紹介しています。

当社は、2026 年に策定した長期経営構想「Innovate2035!」において、「人と技術の力でイノベーションを起こし続ける CSV※3 先進企業として世界をもっと元気にしている」をビジョンに掲げています。グループ共通の価値観・行動指針「KIRIN WAY」の基本理念である「違いを力に変える」のもと、多様な人財が自分らしく力を発揮できる環境づくりと人権尊重の取り組みを今後も推進していきます。

※1 キリングループの人権に関する方針と戦略についてはこちらをご参照ください。

※2 「キリングループ人権レポート 2026」についてはこちらをご参照ください。

※3 Creating Shared Value の略。お客様や社会と共有できる価値の創造。

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

（お客様お問い合わせ先）
キリンホールディングス株式会社 お客様相談室 （フリーダイヤル）0120-770-502
企業情報 Web サイト https://www.kirinholdings.com/ 商品・サービス情報 Web サイト https://www.kirin.co.jp/